

公的な
支援制度も

まずは無料の支援で省エネ相談!

1日でエネルギーのムダを見つけます!

無料省エネ診断

今までに
約2万社
が受けています!

省エネ診断のお申し込みや
様々な事例紹介

<https://www.shindan-net.jp/>



エネルギーの専門家が現場に赴き、原則1日でエネルギーの使用状況を診断します。診断の結果、お金をかけずに出来る省エネと、設備投資による省エネを、具体的な省エネ効果とともに、後日報告書にて提案します。これまでに幅広い業種の方々が受診し、省エネによるコスト削減を実現しています。

省エネのお悩み、なんでも相談!

省エネルギー相談
地域プラットフォーム

全国に
相談窓口があります!

お近くの地域の
相談窓口を検索

<https://www.shoene-portal.jp>



お近くの省エネルギー相談地域プラットフォームが経営状況や課題に合わせ、さまざまな分野の専門家をコーディネートしながら皆様と伴走しつつ省エネ取り組みに関するサポートをきめ細やかに行います! 豊富な支援実績を持っているエネルギーと経営の専門家が、経営改善につながる省エネ提案や、お得な補助金の紹介・申請のお手伝いを行います!

省エネ設備・機器の導入費用を一部補助!

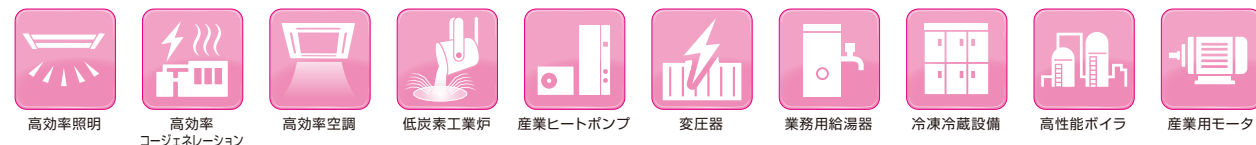
平成30年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の概要

事業者の省エネ取り組みを支援します! **省エネルギー設備への入替支援**

I. 工場・事業場単位 工場や事業所において、既存の設備からエネルギー消費効率の高い設備に入替えると省エネ対策を行う場合などに、補助金が活用できます。

補助対象経費	設計費、設備費、工事費	例: 高効率空調、照明の更新と、エネマネ事業者を活用し 総工費1,100万円をかけて、飲食店舗を改修の場合
1事業あたり 補助金限度額	【上限額】 15億円/年度 【下限額】 100万円/年度	1,100万円 × 補助率1/2 = 550万円の補助

II. 設備単位 下記のような設備を省エネ性の高い設備に更新する場合も、補助金が活用できます。



補助対象経費	設備費	例: 居酒屋にて、既存設備を高効率冷蔵庫に入替えて エネルギーの使用量を削減する場合
1事業あたり 補助金限度額	【上限額】 3,000万円 【下限額】 30万円	120万円 × 補助率1/3 = 40万円の補助

改正省エネ法による、税制優遇 **省エネ促進税制**

省エネ対象設備を導入する際に、税制優遇制度があります。
省エネ対象設備: ボイラー、工業炉、産業用ヒートポンプ、コージェネレーション設備、モータ、変圧器等

詳細は「省エネポータルサイト」へ!

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/



パンフレットのダウンロードはこちら!

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/



専門家のサポートで無理なく・おトクに経営改善。

飲食業の皆様

コストカットにつながる情報、教えます!

食材や人件費を
削らずに、

コスト削減を 実現!?



いったいどうやって?!
ヒントはここの中

その答えは、
“省エネ”です!

“省エネ”が
コスト削減も、
業務改善も、
労働時間削減も…
解決します!

経営課題を見つけ、一つひとつ取り組むことも重要ですが、複数ある課題を同時に解決していく視点を持つことが、近年注目され始めています。

例えば、コスト削減に有効な省エネルギー。

経営課題に取り組むことで結果として省エネルギーもできたという事例や、省エネルギー対策を実施することで同時に他の経営課題の解決につながった、という事例がたくさんあります。

表紙のキャッチコピー「**食材や人件費を削らずに、コスト削減を実現!**」は実際に飲食業で、食材や人件費を削

ることが難しいので、エネルギー使用量を削減しようと考えた際に、高効率冷蔵庫を導入し、照明をLEDに替えたことで、年間100万円の光熱費を削減できたという事例です。

国の支援制度を上手に利用することで、省エネルギーや経営のプロの支援を受け、効率的に、そしてお得に省エネ対策に取り組むことが可能です。

ここでは、一般社団法人省エネルギーセンターの省エネ事例集や省エネ診断事例、省エネルギー相談地域プラットフォームのヒアリング事例などから集めた飲食業の皆様の声をご紹介します。

💡 **きっかけは様々…**

最も高い月で電気代を30万円程度は支出していたため省エネに挑戦

新築から20年が経過し、エアコンや冷蔵庫が老朽化してきたこともあり、思い切って全面的に設備を更新

食材や人件費の削減が難しいため、エネルギー使用量を削減しようと考えた

近年、電気代が上がっていると感じており、何か手を打ちたかった

📉 **こんなにコスト削減できた!**

高効率冷蔵庫やLEDの導入により
光熱費は年間で100万円下がった

年間
100万円
カット

上水を井戸水に変えることにより、
水道料金 月15万円削減

月
15万円
カット

高効率冷蔵庫の省エネ率が
従来の冷蔵庫の50%以上だった!

省エネ率
50%
以上

空調設定温度を夏は1度上げ、冬は1度下げること
年間14%の電力料金削減!

年間
14%
カット

食器洗浄機の導入で手洗いと比べ
人件費、水道代、電気代、ガス代、洗剤代を大きく削減

☕ **省エネ≠我慢。特別なことはしなくて良い!**

“省エネルギー相談地域プラットフォーム事業者”に設備を更新したいと相談したところ、自分で調べなくても設備業者や金融機関が補助金の情報を持ってきてくれた

スマートメーターを導入し電力使用量の見える化をただで、社員の省エネ意識が向上し、エネルギー削減につながった

主な相談先・情報入手先は、商工会議所。いつも有益な情報が集まってきているので1度行くだけでたくさんのアイデアをもらえる

✍️ **生まれた副次的メリット**

高効率設備への変更で機器の耐久性もアップし、
メンテナンスの手間が軽減

設備更新をしたことで、
バリアフリー対応の店舗にすることができた

人手不足解消のために、導入した最新機器のおかげで、
現従業員の残業時間も減った

公的支援が充実!! カンタン・無料でご相談を!!